医療法人 厚生堂
長崎病院
広報誌
2024.3 vol.133

むつみ

当院の理念　私たちは良質で安心な医療の提供により、患者様や家族の皆様との信頼を築き、常に「思いやりの医療」を念頭に、地域社会に貢献します。

目次

「こうげんびょう」……1
成人のワクチン……2
人間ドックで健康チェック……3
お知らせ……4

「こうげんびょう」

内科医師　熊谷 和彦

「こうげんびょう」とは

「こうげんびょう」という病名の漢字表記では「高原病」という文字を連想される方が多いようですが、正しくは「膠原病」と記されます。

膠原病は、単一の病気ではなく、いくつかの共通点をもつ病気を総称したもの（疾患群）です。膠原病には、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎、結節性多発動脈炎などの病気があります。さらに、膠原病の類縁疾患といわれるものもあり、これらを含めると非常に多数の疾患があります。

膠原病は難病というイメージの強い病気ですが、個々の疾患や同じ病気でも個人個人により病状や経過が全く異なりますので、最初にできるだけ詳しく検査し、病状を十分に確認した上で治療方針を決定します。

膠原病の症状

膠原病の大きな特徴は、「全身性」の病気であるということです。「全身性」とは、全身のほぼすべての臓器（皮膚、関節、肺、筋肉、心臓、神経、消化管、肝臓、骨髄、など）に障害がおこりうるという意味です。そのため、病状・症状は非常に多彩で、膠原病の診療には内科だけではなく他の様々な診療科による診療も必要になります。

レイノー症状またはレイノー現象

外気温度の変化（特に寒冷の刺激）などにより一時的に手足の指先の皮膚の色が白～紫～赤と変化する現象のことで、数分から20分程度で回復する。特に強皮症などの膠原病にみられやすい症状の一つです。

共通してよくみられる症状としては、関節症状（痛みや腫れ）、倦怠感、微熱、様々な湿疹、寒冷刺激で手足の先が白くなるレイノー症状などがあります。これらの症状があり改善しない場合は、一度、専門医に相談される方がよいでしょう。

膠原病の検査

膠原病は、自己免疫疾患とも呼ばれ、病気の成り立ちにある種の免疫異常が推測されています。この免疫異常を反映する検査の一つが種々の「自己抗体」検査ですが、自己抗体検査は絶対的なものではなく、あくまで参考の一つにしかすぎません。自己抗体検査が異常（陽性）でも、身体所見の異常や症状がなければ膠原病の診断にはあてはまらないことがおおく、実際にそのような例（検査のみの異常）は珍しくはありません。最近では一般の健康診断などで自己抗体の一つである「リウマトイド因子」などが検査されることもありますので、その結果の解釈には注意が必要です。

膠原病の経過

膠原病の経過は、急性から慢性的な経過まで疾患、個人により様々です。

関節炎や間質性肺炎などがみられる「関節リウマチ」、口腔乾燥やドライアイなどがみられる「シェーグレン症候群」、手指などの皮膚が硬くなり循環障害などがおこる「強皮症」では年余にわたる慢性経過を呈します。手指の冷感ではじめて膠原病科を受診された80歳過ぎの患者さんが、発症から数十年は経過していたであろう強皮症であったことに驚いたことがあります。その患者さんは、多少の不便を感じてはいるものの、日常生活は特に問題なく過ごされていました。長年にわたる口腔乾燥感をたまたま調べたところシェーグレン症候群であったというケースなども珍しいものではなく、このような潜在的な膠原病の患者さんは相当数存在するだろうと考えられています。膠原病は、一般の方が思っている以上に身近な病気かもしれません。

特集 成人のワクチン -ワクチンで予防できる病気はワクチンで予防しよう-

薬剤師　佐原 登紀子

小児期の定期接種が終了したら、ワクチンを接種する機会が減少しますが、成人にもワクチンで予防できる病気があります。

今、**ライフコース予防接種**（生涯を通した予防接種）が注目されています。あなたに必要な予防接種を見直してみませんか。

ワクチン、予防接種とは

ワクチンとは、病気の原因になる病原体や細菌の毒素の病原性や毒性を弱くしたり無くしたりしたものです。

ワクチンを接種することを予防接種といいます。予防接種には、法律に基づいて市区町村が主体となって実施する「定期接種」、希望者が各自で受ける「任意接種」、この度の新型コロナウィルス感染症などの「臨時接種」があります。費用は、定期接種は原則公費です。任意接種は自己負担ですが、その必要性は定期接種と同じです。

ワクチンの役割は「個人を守る」と「社会を守る」

ワクチンで予防できる病気を**VPD**（vaccine preventable disease）と呼びます。

ワクチンには、VPD（表参照）から「個人を守る（個人防御）」と「社会を守る（社会防御）」の2つの役割があります。

ワクチンを接種するとその病気に対する免疫（抵抗力）が、あらかじめ体の中に作られ、実際に病原体が体に入ってきた時に、その人の感染症の発症あるいは重症化を予防することができます。

また、地域に住む多くの人がワクチンを受けて免疫をもっていると、その集団の中に感染した人が出ても流行を抑えることができる「集団免疫効果」が発揮されます。

そして、持病などでワクチンを接種することができない人や妊婦を病気から守ることにもつながるのです。

ワクチンの副反応

接種から数日間は発熱や接種部位などの症状が出ることがあります。まれではありますが、健康被害も起こりえます。予防接種によって健康被害を受けた方には救済制度が設けられています。

主なVPD

百日咳　ジフテリア　破傷風　ポリオ　麻しん（はしか）
風しん　水痘　帯状疱疹　日本脳炎　結核
子宮頸がん　Hib感染症　肺炎球菌感染症
インフルエンザ　おたふくかぜ　A型肝炎　B型肝炎
ロタウイルス感染症　髄膜炎菌感染症
新型コロナウィルス感染症　など

成人に必要なワクチン

①小児期に、自分が接種するべき定期接種を打ち損じているもの

母子手帳などの接種記録を確認しましょう。

②幼少期にはワクチンがなくて、打つ機会がなかったもの

例えば、1968年以前に生まれた人は、定期接種で**破傷風**トキソイドを含むワクチンを接種する機会がありませんでした。

③幼少期にワクチンがあり、接種の機会もあったが、現在の必要な回数に満たないもの

例えば、**麻しん**ワクチンは、定期接種開始当時は1回しか接種していません。麻しん含有ワクチンは2回の接種が必要です。

④ワクチンはあったが、当時の定期接種スケジュールによって、現在の必要な回数に満たないもの

例えば、**風しん**ワクチンは、女性のみに定期接種していた時期があったため、30代後半から50代の男性の抗体保有率が低く、定期的に小流行を繰り返しています。

⑤成人のある年齢になってから接種するワクチン

成人**肺炎球菌**ワクチン（PPSV23）、**インフルエンザ**ワクチンなどは成人の定期接種です。定期接種の対象者は該当する年齢や基礎疾患などで決められています。

定期接種ではありませんが、**帯状疱疹**予防に、水痘ワクチンや帯状疱疹ワクチンが50才以降に推奨されています。帯状疱疹に罹患するリスクが高い18歳以上にも帯状疱疹ワクチンを接種できます。

⑥社会的な予防（職業など）のために必要なワクチン

⑦病気のために必要になるワクチン

⑧海外渡航に伴って必要になるワクチン

ワクチンスケジュールの掲載サイト

「こどもとおとなのワクチンサイト」（日本プライマリ・ケア連合会）、「日本の予防接種スケジュール」（国立感染症研究所）等で、最新の情報を確認しましょう。

さいごに

市区町村からの「ワクチン接種のお知らせ」を放置せず、きちんと接種しましょう。

生涯を通して、ワクチンで予防できる病気はワクチンで予防しましょう。

当院の予防接種は予約制です。
外来受付までお電話ください。

40歳を過ぎたら 人間ドックで健康チェック✔

ヘルスケアセンター 事務室長　近本　理

生活習慣病・がん・心疾患などの発症リスクが高くなるとされる40歳から、人間ドックを受診するのが望ましいとされています。

会社勤めの方は年に1回、人間ドックや健康診断を受診する機会がありますが、主婦・自営業・定年退職を迎えられた方は、なかなか人間ドックを受診する機会がないのではないでしょうか。

そんな方々のために、長崎病院ヘルスケアセンターでは“がん検診受診券”や“特定健康診査受診券”をお持ちの方を対象に、公益社団法人日本人間ドック学会が定める検査項目基準以上の充実した検査内容の人間ドックを、通常価格の半額以下で受診できる独自の人間ドックコース“市民ドック”を提供しています。

市民ドックとは

広島市または府中町発行の“**がん検診受診券（胃・肺・大腸）**”と、保険者発行の“**特定健康診査受診券**”を全てご利用頂くことで、当センターの**人間ドックコース（通常価格37,400円）を半額以下**で受診できるサービスのことです。

【市民ドック検査内容】

- 胃がん検診（バリウムまたは胃カメラ）
- 肺がん検診（胸部X線）
- 大腸がん検診（検便）
- 腹部超音波検査・肺機能検査
- 血液検査（脂質、肝機能、血糖、貧血、腎機能、肝炎ウィルス、腫瘍マーカー）
- 心電図検査・尿検査・身体測定
- 眼底・眼圧検査　　など

この市民ドックを、早期受診割引期間中に受診を頂くことで、充実した人間ドックを更にお得に、総合的に身体の健康状態をチェックすることができます。

市民ドック早期受診割引サービス

【早期割引期間】4月1日～5月11日
【対象コース】市民ドック（がん検診受診券・特定健康診査受診券を全てご利用の方）
【市民ドック料金】通常18,000円
⇒ **早期受診割引期間中 7,000円**

【胃カメラ差額代金無料】 全コース対象

通常、バリウムから胃カメラへ変更の場合、差額負担が必要ですが、人間ドック・生活習慣病予防健診等、胃部検査がセットの健康診断を受診の方は、差額代金なしで変更可能です。
※他にも、年末年始など当センターが指定する日には、**指定日割引**もあります。

【がん検診受診券の種類】

≪男女共通≫
- 胃がん検診（バリウム・胃カメラ）
- 肺がん検診（胸部X線）
- 大腸がん検診（便潜血）

≪女性のみ（隔年）≫
- 乳がん検診（マンモグラフィ）
- 子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診）

【受診券配付対象】

≪がん検診受診券≫

① 広島市または府中町にお住いの40歳以上の方
② 社会保険被扶養者
③ 定年などで会社を退職された方
④ 国民健康保険ご加入の方

≪特定健康診査受診券≫
① 社会保険被扶養者
② 国民健康保険ご加入の方
③ 社会保険任意継続者、被扶養者

- 広島市と府中町が発行した“がん検診受診券”のご利用が可能です。
- **毎月第3金曜日**（午前中）は女性の方専用の健診日“**レディースデー**”です。

※職員は一部男性

健康診断に関することは、お気軽にヘルスケアセンターへご相談、お問い合わせ下さい。

早期発見・早期治療で
健康寿命を延ばしましょう!

長崎病院ヘルスケアセンター　☎082-208-5791（長崎病院隣 4階受付）

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のために

皆様へのお願い

●せきや熱などのかぜ症状のある方は、必ずご来院前に電話でご連絡をお願いします。
●来院される患者さん・他全ての皆様、マスクの着用・手指消毒をお願いいたします。

入院患者さんへの面会について（感染状況により面会制限を設ける場合あり）

面会日時　全日　13時～18時（退室18:30までに退出のこと）　**予約は必要ありません。**

面会条件
・原則ご家族のみ数名で1回30分程度、各病室のベッドサイドで面会してください。
・面会時は検温・不織布マスクの着用（患者さんも）をお願いいたします。
・体調不調・発熱のある方は面会をご遠慮ください
・患者さんへの差し入れは必ず看護師にお申し出ください。また面会に来られた方の飲食はご遠慮ください。

面会手続き
・各病棟のエレベーターホールで面会票をご記入の上病棟内へお入りください。（体温の記入が必要です。）

大腸ファイバー検査

便通が気になる方、健康診断で便潜血が陽性だった方など、是非ご相談ください。

毎週水曜日の午後、消化器専門医が検査を行っています。

（大腸ファイバー検査は診察後予約の必要な検査です）

お問い合わせ
長崎病院 外来受付
☎082-208-5801(代)

外来担当医表

診療時間　午前 8:30～12:00／午後 2:00～5:30

		月	火	水	木	金	土
午前	内科【第1診察室】	住田〈循環器〉	長崎院長	山下〈糖尿病〉	住田〈循環器〉	長崎院長	原〈糖尿病〉
午前	内科【第2診察室】	原〈糖尿病〉	古森〈糖尿病〉	中村〈呼吸器〉	香川〈呼吸器〉	香川〈呼吸器〉	住田(第1・3週)　熊谷(第2・4週)　古森/山下(第5週)
午前	皮膚科・熱傷【第3診察室】	蓮沼	鍋島	鍋島	鍋島	鍋島	齋藤(第1・3・5週)　末廣(第2・4週)
午後	内科【第1診察室】	熊谷〈リウマチ〉	中村〈呼吸器〉	古森〈糖尿病〉	熊谷〈リウマチ〉	山下〈糖尿病〉	山本〈循環器〉
午後	内科【第2診察室】	井門〈神経内科〉				＊箱田〈リウマチ・痛風〉	
午後	皮膚科・熱傷【第3診察室】	浪花	鍋島	坪井	坪井	鍋島	休診

・都合により担当医が変更する場合がございます。　・〈　〉は専門分野です。　・＊診察週が変動しますので事前にお問い合わせください。

2024年3月1日現在

長崎病院のめざす〔地域医療〕〔包括医療〕

長崎病院
・**内科**（循環器・呼吸器・糖尿病・リウマチなど）
・**皮膚科・熱傷センター**
・**リハビリテーション**（理学療法・作業療法・言語療法）
☎082-208-5801（代）

長崎病院ヘルスケアセンター
（人間ドック・健診施設機能評価認定優良施設）
☎082-208-5791（代）
・**訪問看護ステーション ながさき**
☎082-503-3236（担当:久保田）

みささ文化ビル
・**居宅介護支援センター**
☎082-230-8181
（担当:滋野）

ほほえみの郷
・**グループホームあいあいホームながさき**
☎082-532-6636（担当:荻原）
・**デイサービスセンターほほえみながさき**
☎082-532-6630（担当:安永）

基本方針

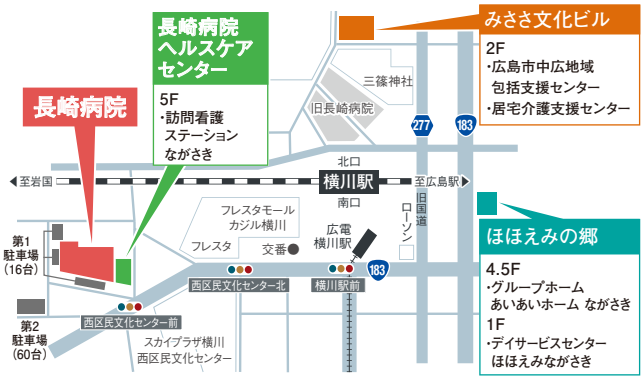
1. 患者さんの生命の尊厳と人権を尊重します
2. 常に新しい医学・医術の研鑽に励み、良質な医療サービスに努めます
3. 明るく清潔で快適な医療施設を整えます
4. 思いやりの医療・看護・介護を目指します
5. 健全な経営を基盤とし、患者さんや家族の皆様及び職員に満足される医療機関となるよう努めます
6. 可能な限り患者さんのライフスタイルにあった自立した生活ができるよう努めます

患者さんの権利

医療法人厚生堂は患者の権利に関する「リスボン宣言」にのっとり、信頼される医療の提供を目指します。

1. 個人の尊厳を守るための支援を受ける権利
2. 良質で安全な医療を平等に受ける権利
3. 病状や治療について十分な説明を受ける権利
4. 検査・治療の選択について自らが決定する権利
5. 診療に関わる個人情報の保護を受ける権利
6. 診断や治療について、他の医師の意見を求める権利（セカンドオピニオン）
7. 健康増進・疾病予防を行うための健康教育を受ける権利

医療法人 厚生堂
長崎病院
〒733-0013 広島市西区横川新町3番11号
［ JR横川駅 南口より西へ300m、西区民文化センター向い ］
駐車場完備
TEL 082-208-5801（代）
FAX 082-208-5821

診療時間　午前8時30分～12時/午後2時～5時30分　　休診日　日曜日・祝祭日

http://www.nagasaki-hp.jp　長崎病院 広島　検索